

鳥取県内の生涯学習情報が満載！



ページ
1 特集

日野川の河川敷に凧が舞う 凧揚げで地域が一つに！

米子福生凧の会

- 4 とっとり県民カレッジ連携
生涯学習講座情報（1・2月）
- 20 連携講座 おすすめピックアップ
- 21 てを とりあって とっどりの 元気づくり！
公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
- 23 境漁港で水揚げされる魚について学ぼう
- 24 文部科学大臣表彰 県内の優れた取組を紹介します！
- 25 鳥取県立生涯学習センター（お知らせ）
- 27 生涯学習公開講座
放送大学4月入学生募集！！



「切り絵シリーズ」 のきょうぶんご 野花豊後（湯梨浜町）

湖畔を見下ろす約二千本の梅林、甘酸っぱい香りと可愛いらしい花が咲くのが待ち遠しい。

絵・文：紙原 四郎 氏

日野川の河川敷に凧が舞う 凧揚げで地域が一つに！

よなごふくいけたこかい
米子福生凧の会



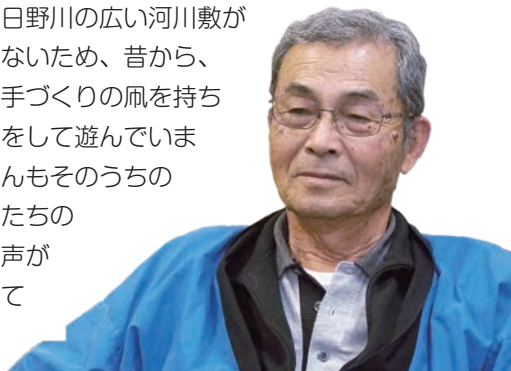
勇壮な大凧：これは、大きさ40畳の「竜神2号」

米子市福生東公民館（以下、「福生東公民館」）の20周年記念に凧を揚げることになったのをきっかけに、平成19年に「米子福生凧の会」（以下、「凧の会」）を有志で設立。毎年秋に開催する凧揚げ大会で地域の絆を深めるとともに、小学校や保育園でも凧作りを教えています。平成27年には、「頑張る住民自治活動鳥取県知事表彰」を受賞。地域に愛される活動について、会長の安井賢さんにお話を伺いました。

凧揚げに最適な河川敷がある“福生地区”

大山を東方に望み、日野川が日本海に注ぐ河口の西側に米子市福生地区があります。中国横断自動車道岡山米子線の開通とともに、米子市の玄関口として急速に開発が進み、人口が著しく増加している地域です。

地区内には日野川の広い河川敷があり、電線もないため、昔から、子どもたちは手づくりの凧を持ち寄って凧揚げをして遊んでいました。安井さんもそのうちの一人。子どもたちの楽しそうな歓声が河川敷に響いていました。



米子福生凧の会
会長 安井 賢 さん



30年前から凧作りを学校行事として

昭和63年4月、それまでの福生小学校の校区が2つに分かれ、新たに福生西小学校が開校。福生小学校は福生東小学校と改称してスタートしました。

その前年、福生小学校の最後の卒業生となる児童の保護者は、「卒業記念として、何か思い出を作ってあげたい」と、PTA役員でもあり校区外で凧作りを指導していた星野章作さんに相談しました。そして、6年生の行事として凧作りを始め、連凧が完成。卒業生と保護者の想いを乗せた凧は見事に空高く揚がっていきました。

その様子を見ていた安井さんは、「連凧というのは、1枚だけでは揚がりにくいですが、100枚、150枚が連なると全部の凧が一斉に揚がります。子どもも一緒に、一人ではできないことでも、みんなで協力するとできることがあります。これは教育的にもとてもいいことではないだろうか」と強く感じ、福生東小学校の初代PTA会長に就任したことをきっかけに、当時の伊木校長に「教育の一環として学校行事としてやりましょう!」と強く要望しました。こうして、この連凧作りは学校行事に組み込まれ、今では全学年で行う行事として定着しています。

公民館の記念行事をきっかけに会を発足

10年程前、退職して地元に戻ってきた幼なじみと再会した安井さんは、子どものころと一緒に凧を作って遊んでいたのを思い出し、仲間5名と意気投合して福生東公民館で凧作りを始めました。「小凧を作っているうちに、もう少し大きな凧を作ってみようということになってね」

その様子を見ていた当時の公民館長から「公民館の20周年記念事業として凧揚げ大会を開催したいので、大凧を作ってくれないか?」と頼まれたのをきっかけに、平成19年、凧作りと凧揚げをとおして地域の活性化を図ろうと、凧の会を発足しました。



福生東公民館の凧



地元の企業凧



自治会凧：各自治体で趣向を凝らした凧が揚がります

平成20年11月28日に開催することになった「米子福生大凧揚げ大会」に向けて、凧の会が中心となり、各自治会の協力を得て初めて大凧作りを開始。「まず、竹を切りに行くことから始まり、竹を割ってカンナをかけて。竹は甘いから虫が入るので火で炙り、寸法出しをして、それからロール紙に竜の絵を描いて、貼って、それから・・・」と作業の大変さを話す安井さん。延べ100人役以上かけて、34畳の大きさの大凧「竜神1号」が完成しました。大凧は風速7～10メートルの風がないとなかなか揚がりません。大会当日は風速3～4メートルしか風がなく、地域住民約60名で一糸懸命引っ張って、なんとかこの大凧を揚げることに成功。凧をとおして地域の人が一になった瞬間でした。

地域住民の交流の輪が広がっています

20周年記念事業から始まった「米子福生大凧揚げ大会」。毎年、凧の会、自治会、学校、企業などで実行委員会を立ち上げて凧作りと大会運営の準備を進めます。大会当日は、地域内外から約500名が集います。大小さまざまな凧が揚がりますが、何といても名物の大凧や空高く舞い上がる連凧の姿は壮観です。自治会凧や企業凧も揚がります。東日本大震災や熊本地震、鳥取県中部地震の発生後には、凧の会として復興凧を作り、一日も早い復興を祈って揚げました。

この大会を始めて10年。毎回この大会を地域のみんなが楽しみにしています。地域住民の絆や社員同士の連携も生まれています。安井さんは、「凧揚げは世代や立場を超えてみんなで楽しめるものです。凧揚げをとおして人が集まり、ますます地域の活性化につながればうれしいですね」と話します。



東日本大震災の復興凧
「立ち上がれ東北」大凧

東日本大震災により大きな被害を受けた東北地方の復興を願い、凧の会で12平方メートルの凧を作りました。六角形の星と、太陽をモチーフにしています。

六角は東北6県を表します。夜空に輝く星は、「願い・祈り・安らぎ・癒し」を、青空にさんさんと輝く太陽は、「輝き、情熱、力強さ、暖かさ、エネルギー」を意味します。

連凧の全長は、約100メートル。凧揚げで一番重要なのは糸目。風の方向や強さは変わるので、直角に風を受けるように糸目が自動的に調整してくれます。

今では、親子で凧を揚げる姿も！

凧の会では、福生東小学校の全児童を対象に「大凧揚げ大会」で揚げる連凧作りを指導する他、「夏休み凧作り教室」でも凧作りを教えています。また、福生西小学校へも出向き、毎年11月にある「西小祭」で地域の子もたちに凧作りを指導する他、福生保育園の園児と保護者にも凧作りを教えています。

「一般的に30～40代の親は、子どもころに凧を揚げて遊んだ経験があまりありません。せいぜい既製品のビニール凧くらい。でも、この地区では、正月に親子で凧揚げをする姿を河川敷で見かけるようになりました。昔凧作りを指導した子どもが、今、立派な親になり、我が子と一緒に凧を揚げている姿を見るとうれしいですね」と安井さん。



福生保育園の園児と保護者を対象にした凧作り教室



通称「凧部屋」での月1回の定例会

技術を継承し活動を継続したい！

5名の仲間で結成した凧の会は、今では30～80代の幅広い世代の人が集まり、35名にまで増加。「メンバーが増えたのは、みんなが兄弟のようで、だれでも入りやすい会だからですかね。凧に興味があれば他地域の方でも大歓迎なんですよ」と安井さんはうれしそうです。

メンバーの中には、毎年、兵庫県たつの市に自作の凧を揚げに行ったり、滋賀県で開催される東近江大凧まつりを観に行ったりする人もあり、他地域との連携や交流を積極的に行っています。

しかし課題も。「今は、さまざまな凧作りを指導できるメンバーがいますが、今後のことを考えると技術の継承が必要です。大凧は作るのが難しい。まずは2畳凧や4畳凧など、凧を規格化することも考えないとね」と活動を継続するための方策を思案中です。

凧をとおした人づくり、地域づくりに貢献する凧の会。これからも人々の想いを乗せて、さまざまな凧が日野川の河川敷に空高く舞うことでしょう。



福生東小学校 夏休み凧作り教室

大凧作りは大変！！

大凧の骨組みとなる竹は、真竹を使います。真竹の筍が生える時期は6月で、孟宗竹は4月。そのため、先に生える孟宗竹に侵食され、近年、真竹が減ってきて入手が困難になっているそうです。

凧は星野さんがパソコンを使って設計します。係数を入れると、大きさや重さの違う凧が設計できます。絵はA4サイズの原図を基に、鉛筆でマス目を使って、縦9メートルもの紙に下絵を描いていきます。緻密で根気のいる作業です。

日野川の河川敷という元々ある地域の特徴を活かしたら、結果として凧揚げという他にはない地域の特色が生まれました。



福生東公民館

館長 権代雅志 さんからのメッセージ

館長 権代雅志 さんからのメッセージ

会長の安井さんの人柄に魅かれ、みんなが安井さんのためならがんばろう！という気持ちになるんですね。「福生東といえば凧！」と言われるまでになりつつあり、地域のPRにもなっています。今年、公民館が30周年、凧の会が10周年を迎えました。凧の会は公民館の同好会でもあり、活発に活動されています。応援しています！

公民館には、全面的にバックアップをしてもらっています。精神的にもね！



お気に入りの帽子と半被姿の安井さん

メンバー募集中！！

<連絡先> 米子福生凧の会事務局
〒683-0003 米子市皆生5-19-25 (連絡先) 0859-32-5077

第10回 米子福生大凧揚げ大会開催！！

平成30年1月14日(日)

10:00～15:00

平成29年秋の10回目の記念大会は台風のため延期。平成30年1月に開催される予定です。『トリピー』『くらすけくん』『ヨネギーズ』のいずれかの小凧と缶バッジをプレゼント！

(先着、子ども100名様)

※天候により中止される場合があります。